

清央小だより



令和7年度 第35号
2026. 2. 20

HP > <https://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-c/>

教	「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」
育	・自ら学び工夫する子ども (考える)
目	・元気でがんばる子ども (鍛える)
標	・礼儀正しく思いやりのある子ども(思いやる)

※ 本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。
※ 学校の様子はホームページにも掲載しています。その際は、画像を一部加工することがあります。ぜひご覧ください。

感謝の会

2月10日(火)に、日頃から地域でお世話になっている皆様へ感謝の気持ちを伝える「感謝の会」を行いました。スクールガードさんや芋レンジャーの皆さんをはじめ、本当に多くの皆様にご協力をいただきながら、本校の教育活動が成り立っていることを改めて感じる日でもありました。

児童代表の言葉の後、子供たちが書いた感謝のお手紙を贈り、最後に、この日のために練習してきた全員合唱「花は咲く」を披露しました。元気に気持ちを込めて歌うことができました。感謝の気持ちが少しでも届いていたら嬉しいです。

また、今後も引き続きご協力をお願いいたします。



県内美術館・博物館所蔵作品のアートカードを使った特別授業

この度県内美術館、博物館等の学芸員と教員からなる団体「あーとネットとちぎ」は、県内の美術館や博物館が所蔵している作品を厳選して64枚のアートカードを作成しました。アートカードを作成している美術館は全国各地にあります。ほぼそれぞれの館の所蔵品のみで構成され、地元の作家以外の作品も多く含まれています。それに対し、「あーとネットとちぎ」が作成したカードは、作品や作家がすべて栃木県ゆかりのものであるということと、比較的常設展示されており、いつでも見に行ける作品で構成されているという特徴があります。このカードを使った授業実践を、本校6年生で行いました。授業は、校長・青木と松本教諭が担当し、2時間扱いで、次のような流れで行いました。

- ① まずカードをよく見る。
- ② ランダムにイメージカードを引き、カードに書かれた言葉に自分が一番近いと思う作品を選んで、互いに発表する。
- ③ 自分たちでテーマを決め、カードから6枚以上12枚選んで展示会を考える。展示は、始まりと終わりがつながった物語になるようにし、無限ループで見られる展示にする。
- ④ できたものをみんなで鑑賞する。

最終的に班ごとのテーマに合った展示会ができあがります。無限ループの物語になるので、人気アニメ鬼滅の刃にならって「円舞展示会」と名付けました。鑑賞のポイントは、すべて地元ゆかりの作品という点を押さえた上で、色や形などに注目して鑑賞しました。

①②の活動では、ほぼ初めて見る作品に興味津々で、とてもよく作品を観察しながら鑑賞していました。

③④の活動では、テーマを決めた後、どの作品がテーマにより合う作品なのか根拠を明確にしながら鑑賞しつつ、友達と意見を交わしながら楽しく活動できました。

今週は、開発に携わった美術館関係の皆さんが見学を訪れ、「自分たちが作成したカードで、子供たちが盛り上がり一生懸命鑑賞している姿に感動しました。」といったコメントをいただきました。

(文責 校長)

